

歴史まちづくり活動 概要シート

情報提供内容	<input type="checkbox"/> 活動グループ紹介(組織紹介) <input checked="" type="checkbox"/> 活動紹介(具体的な活動事例紹介)		
カテゴリー (複数チェック可)	<input checked="" type="checkbox"/> 建物単体	<input checked="" type="checkbox"/> 地域・まちなみ	
	<input type="checkbox"/> 調査・研究	<input checked="" type="checkbox"/> 保存・利活用	<input type="checkbox"/> 活動・イベント <input type="checkbox"/> 災害復旧 <input type="checkbox"/> その他
キーワード	#旧海軍施設 #近代(戦前)		
ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名	
中国四国	広島県建築士会	呉地区地域会	
グループ概要			
活動団体名	呉 YWCA なかなか会議	連絡先住所	737-0028 広島県呉市幸町3番1号
代表者名	木村 浩子	TEL	0823-21-2414
シート作成者	家頭 昌子	E-mail	krywca@joy.ocn.ne.jp
活動開始年	2016年	URL	https://kureywca.jimdofree.com/
備考	建築士会 東京大学(腰原教授 村松名誉教授)		
活動名称	呉 YWCA 建物保全活用		
<p>〔建物の背景〕</p> <p>呉 YWCA の建物は木造2階建ての旧海軍施設で、旧呉海軍工廠の第2門に面し、第2門からの進入道路と鉄道、河川に囲まれた三角地に立地している。被服倉庫として利用されたとなっているが詳細は不明。呉大空襲など数度の戦災を免れ当時の姿をそのまま残している。</p> <p>戦後、英連邦の進駐軍施設として利用されていたが、その後民間団体である呉 YWCA が払い下げを受けて現在に至っている。戦前から残る呉市のランドマークとしての位置付けはもちろんのこと、戦後の女性の社会活動を象徴する施設ともなっている。</p> <p>戦後払い下げを受けてから後、経済的な理由もあり、今日に至るまで部分的補修にとどまり、また外壁についてはまったく補修されていないなど、建物の経年劣化によるダメージがとても大きい。また、払い下げ直後に1階ホール中央にあった柱5本が撤去されているため、構造的に不安定になっている。</p> <p>会員の高齢化と減少、経済的基盤の脆弱等から 2014 年～2015 年に掛けて建物の解体、売却が検討されたが、存続を願う会員の思いから保存活用に变更された経緯がある。</p> <p>現在は呉YWCAの活動拠点として、同団体が主催するグループ活動、各種教室や貸室等の用途で利用されているが、今後も利用を継続する場合は構造補強などの改修が不可欠である。その場合、極力外観等の現状を維持出来るような改修を検討する必要がある。</p> <p>〔活動概要〕</p> <p>2016年に東大の腰原教授、村松教授によるなかなか遺産の第3号に認証された事をきっかけとして、建築士会、東京大学腰原研究室、呉高専による現地調査が実施された。</p> <p>2017年から会員と建築士会、地域団体、タウンマネージャー等の有志でなかなか会議を立ち上げ、地域の中での役割の見直しや建物の活用方法の検討を進めたが、経済的な問題と会員の改修に対する意識、会員外とのモチベーションの違いから、改修プランは幾つか出たが実質的な動きに結びつかなかった。</p> <p>2020年コロナウイルス蔓延により各種活動が休止した事、来館者が激減し、また緊急事態宣言を受け休館する事態となった事をきっかけとして、コロナ禍での活動やコロナ後の活動について検討する事となり、建物の改修に対する要望が出て来た。また、消防による査察で指摘を受けていた事項について、通常の使用に差しさわりの無い事項については対応出来ていたが、建物の使用に制限が掛かる等で先送りされてきた案件の解消の他、会員からの意見も検討に上がった。</p> <p>2021年2月から1期工事に取り掛かり、クラウドファンディングで資金を調達して4月末から2期工事、8月以降秋に掛けて第3期工事を実施した。今後の展開を検討した結果、2022年2月から第</p>			

4期工事に着手している。

第1期工事 消防法の指摘事項(玄関取替)玄関上2階 B 教室床の持ち上げ、事務所、集いの部屋



消防法に基づいた外開きの玄関扉 合成梁が見える天井の高い通路 つどいの部屋・会議室(入口左)

第2期工事 女性用トイレを移設(授乳スペース付)し、多目的トイレと並べた。階段下旧トイレ設備を解体、扉を階段左側にも取り付け、物置兼作業室として使用できるように改修。

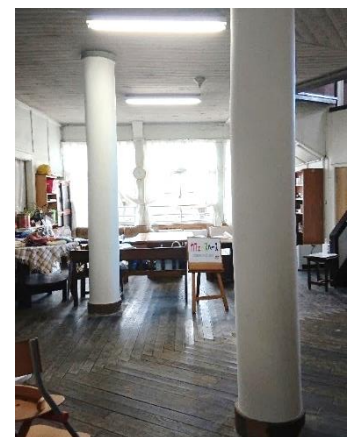


第3期工事 2階 B 教室床のささくれを補修・塗装し、2階の照明・電気配線の整備、ホール前の丸柱を修復。

第4期工事 1階奥の部屋の荷物を移動し、物置と合わせフードバンク設立の準備



フードバンク用エリア



第5期工事 フードバンク設立とそのため改修及び製菓の許可が取れるキッチンの検討など、今後の改修、活用案についての検討を進める。

地域貢献度	★★★★★		維持補修を行うにあたり、必要な資金を集める工夫と長期的に安定して活動を継続していくためのサポーターを確保する事が今後の課題となっている。
建築士会関係度	★★★☆☆	活動を通じた課題や展望	